

平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月9日

上場会社名 株式会社ネクシィーズグループ 上場取引所 東
 コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 平成30年6月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	8,002	4.0	895	△13.5	943	△25.1	1,347	60.6
29年9月期第2四半期	7,694	15.1	1,035	34.6	1,258	67.2	838	136.1

（注）包括利益 30年9月期第2四半期 1,235百万円（25.0％） 29年9月期第2四半期 988百万円（100.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	106.85	102.05
29年9月期第2四半期	68.09	65.12

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第2四半期	13,959	8,228	47.5	524.52
29年9月期	14,087	8,046	38.6	435.00

（参考）自己資本 30年9月期第2四半期 6,636百万円 29年9月期 5,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	10.00	—	15.00	25.00
30年9月期	—	15.00	—	—	—
30年9月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	2.8	2,100	2.2	2,100	△7.5	2,100	18.8	166.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	13,413,640株	29年9月期	13,413,640株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	761,201株	29年9月期	901,890株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	12,609,170株	29年9月期2Q	12,320,944株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、堅調な雇用・所得情勢を背景に消費も緩やかに回復している一方で、海外の政治・経済は先行き不透明な状況が続いております。GDP伸び率は、平成29年10月～12月に0.4%増となりました。消費者物価指数(生鮮食品除く)は、前年同月比0.8%～1.0%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは当第2四半期連結累計期間においても引き続き、LED照明等の設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の設備を導入できる「ネクシィーズ・ゼロシリーズ」(以下、「ネクシィーズ・ゼロ」)に注力しております。また、前連結会計年度に開始した電力供給サービス「ネクシィーズ電力」の営業を同時に行うことで、将来の中長期的な安定収益確保も図っております。一方で、当初の予定どおり3Dクレーンゲーム「神の手」(以下、「神の手」)の大型プロモーションとしてテレビCMの全国放送による費用が発生しております。

これらの結果、売上高8,002百万円(前年同四半期比4.0%増)、営業利益895百万円(前年同四半期比13.5%減)、経常利益943百万円(前年同四半期比25.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,347百万円(前年同四半期比60.6%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

[エネルギー環境関連事業]

エネルギー環境関連事業では、「ネクシィーズ・ゼロ」及び「ネクシィーズ電力」の提供、LED照明等の販売、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、「ネクシィーズ・ゼロ」に注力しており、新規顧客の開拓に加えて、既存顧客からの紹介を促進することで受注の増加を図っております。また、仕入れ面の見直しによる収益力強化や、営業の業務効率化を行っております。そのほか、顧客が電気代をさらに削減できる「ネクシィーズ電力」とのセットプランの提案も強化しております。これらの施策により全体として引き続き好調に推移しております。その他LED照明等の販売やインターネット接続サービス「Nexyz.BB」についても堅調に推移しております。

これらの結果、エネルギー環境関連事業は、売上高6,513百万円(前年同四半期比28.7%増)、セグメント利益1,781百万円(前年同四半期比46.6%増)となりました。

[電子メディア事業]

電子メディア事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き電子雑誌、ECサポート等のソリューション業務及び「神の手」の業容拡大に注力してまいりました。電子雑誌業務においては、新たに5誌の電子雑誌の創刊を実現し、好調に推移しております。一方で、第1四半期連結会計期間より、海外戦略へ向けて台湾に進出している日系企業や現地企業に対してECサポートサービスの提供等を開始したこと、「神の手」のさらなる認知度の向上へ向けてテレビCMの全国放送を実施したことに伴い、費用が先行しております。

これらの結果、電子メディア事業は、売上高1,489百万円(前年同四半期比2.2%増)、セグメント損失347百万円(前年同四半期セグメント利益148百万円)となりました。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社ハクビの当社が保有する全株式を譲渡して連結の範囲から除外しております。これに伴い、報告セグメントの「文化教育事業」の区分につきましては、記載しておりません。また、連結子会社でありました株式会社ネクシィーズ・トレード及び株式会社DiNAは重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、事業セグメントの「その他」の区分につきましては、記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は13,959百万円となり、前連結会計年度末に比べて127百万円の減少となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は11,603百万円となり、前連結会計年度末に比べて847百万円の増加となりました。これは主に、有価証券が200百万円減少した一方で、連結子会社であった株式会社ハクビの当社が保有する全株式を譲渡したこと等に伴い現金及び預金が604百万円、「ネクシィーズ・ゼロ」が好調に推移したことに伴いリース債権が451百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は2,356百万円となり、前連結会計年度末に比べて975百万円の減少となりました。これは主に、出資金の払い戻し等により投資有価証券が478百万円、子会社株式の売却による連結範囲の変更等に伴い敷金及び保証金160百万円、のれん89百万円、破産更生債権等59百万円それぞれが減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は4,248百万円となり、前連結会計年度末に比べて113百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が400百万円増加した一方で、未払法人税等が194百万円、解約調整引当金が72百万円、業績連動賞与引当金が110百万円、預り金が114百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は1,483百万円となり、前連結会計年度末に比べて195百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を除く)が181百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は8,228百万円となり、前連結会計年度末に比べて181百万円の増加となりました。主な内訳は、当社連結子会社が自己株式を取得し、持分比率が変更されたこと等から非支配株主持分が1,012百万円減少した一方で、資本剰余金が59百万円、利益剰余金が970百万円それぞれ増加したこと及び自己株式132百万円を処分したこと等によるものであります。

以上により流動比率は273.1%となり前連結会計年度末比26.5ポイント増加いたしました。株主資本比率は47.5%となり前連結会計年度末比8.9ポイント増加いたしました。一方で、時価ベースの株主資本比率は156.3%となり前連結会計年度末比31.2ポイント減少いたしました。

b. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)の四半期末残高は5,282百万円となり、新規連結及び連結除外に伴う現金及び現金同等物の増減額73百万円を調整した結果、前連結会計年度末残高4,877百万円と比べて404百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は257百万円(前年同四半期は686百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,615百万円を計上した一方で、関係会社株式売却益685百万円、売上債権の増加額230百万円、リース債権の増加額451百万円、法人税等の支払額446百万円がそれぞれあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1,536百万円(前年同四半期は313百万円の収入)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出228百万円があった一方で、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入865百万円、出資金の分配による収入925百万円がそれぞれあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は800百万円(前年同四半期は80百万円の収入)となりました。これは主に、非支配株主からの払込みによる収入147百万円、セール・アンド・リースバックによる収入46百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出181百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出820百万円がそれぞれあったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

各事業セグメントの見通しにつきましては、以下のとおりです。

[エネルギー環境関連事業]

エネルギー環境関連事業では、「ネクシィーズ・ゼロ」において業務用のLED照明のほか、冷蔵庫や空調等の受注が増加する見込みであります。また、引き続き平成30年4月より人員を増員して営業体制を強化しているほか、商材の追加導入も検討してまいります。

そのほか、新たに小売電気事業者の登録を行い開始した、電力供給サービス「ネクシィーズ電力」の営業にも注力してまいります。「ネクシィーズ電力」は、毎月の電気利用料金収入が得られるため、顧客数が増加することで中長期の安定した収益確保が見込まれます。

[電子メディア事業]

電子メディア事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。電子雑誌業務については、さまざまなジャンルで電子雑誌を創刊し、雑誌点数を増加させることにより、電子雑誌への広告掲載料及び電子雑誌の制作受託料の増加を目指してまいります。

その他インターネットを活用した企業プロモーション支援業務については、平成29年10月に台湾に設立した海外現地法人を活用し、各種業務受託料の増加を目指してまいります。

また、「神の手」については、大型テレビCMの放送などプロモーションへの大規模な先行投資により、利用者数増加と将来的な収益の拡大を図ってまいります。

なお、前連結会計年度までの事業セグメント、「文化教育事業」「その他」につきましては、それぞれ該当する会社を連結の範囲から除外したため、記載しておりません。連結業績予想につきましては、平成29年11月14日発表時の通期業績予想に変更はございません。

平成30年9月期 通期連結業績見通し (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

売上高	16,500百万円
営業利益	2,100百万円
経常利益	2,100百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,100百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,677,575	5,282,176
受取手形及び売掛金	3,436,610	3,479,621
リース債権	1,233,789	1,685,283
商品	222,746	167,532
未収入金	276,506	352,201
繰延税金資産	385,752	440,853
その他	683,774	365,526
貸倒引当金	△160,638	△169,571
流動資産合計	10,756,117	11,603,622
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	106,535	101,544
その他(純額)	277,545	247,300
有形固定資産合計	384,080	348,844
無形固定資産		
のれん	117,826	28,685
ソフトウェア	92,002	115,341
その他	18,621	—
無形固定資産合計	228,450	144,026
投資その他の資産		
投資有価証券	1,239,625	761,299
敷金及び保証金	470,310	309,823
その他	1,101,945	826,164
貸倒引当金	△93,227	△34,067
投資その他の資産合計	2,718,653	1,863,219
固定資産合計	3,331,184	2,356,090
資産合計	14,087,302	13,959,713

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	989,512	1,015,867
短期借入金	800,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	362,760	362,760
未払金	505,040	544,080
未払法人税等	543,860	348,894
解約調整引当金	405,371	332,919
業績連動賞与引当金	270,398	160,262
その他	484,812	283,488
流動負債合計	4,361,756	4,248,273
固定負債		
長期借入金	1,473,100	1,291,720
その他	205,482	191,460
固定負債合計	1,678,582	1,483,180
負債合計	6,040,339	5,731,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189,156	1,189,156
資本剰余金	270,302	330,296
利益剰余金	4,796,026	5,766,174
自己株式	△852,619	△720,417
株主資本合計	5,402,866	6,565,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,759	71,510
為替換算調整勘定	—	△265
その他の包括利益累計額合計	39,759	71,245
新株予約権	9,879	9,608
非支配株主持分	2,594,458	1,582,194
純資産合計	8,046,962	8,228,258
負債純資産合計	14,087,302	13,959,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	7,694,909	8,002,838
売上原価	3,987,280	3,873,372
売上総利益	3,707,628	4,129,466
販売費及び一般管理費	2,672,296	3,234,205
営業利益	1,035,332	895,260
営業外収益		
投資有価証券売却益	195,674	—
投資事業組合運用益	20,923	50,339
その他	16,891	3,256
営業外収益合計	233,489	53,595
営業外費用		
支払利息	4,185	3,986
支払手数料	4,585	1,050
その他	1,628	688
営業外費用合計	10,399	5,725
経常利益	1,258,422	943,131
特別利益		
関係会社株式売却益	—	685,486
特別利益合計	—	685,486
特別損失		
関係会社株式評価損	—	13,267
特別損失合計	—	13,267
税金等調整前四半期純利益	1,258,422	1,615,350
法人税、住民税及び事業税	399,797	324,165
法人税等調整額	△70,179	86,654
法人税等合計	329,618	410,819
四半期純利益	928,804	1,204,530
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	89,820	△142,758
親会社株主に帰属する四半期純利益	838,984	1,347,288

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	928,804	1,204,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,942	31,751
為替換算調整勘定	—	△564
その他の包括利益合計	59,942	31,187
四半期包括利益	988,746	1,235,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	898,926	1,378,774
非支配株主に係る四半期包括利益	89,820	△143,057

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,258,422	1,615,350
減価償却費及びその他の償却費	54,532	52,280
のれん償却額	7,508	3,824
解約調整引当金の増減額(△は減少)	△61,706	△72,452
業績連動賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,956	△110,135
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14,945	25,440
支払利息	4,185	3,986
投資事業組合運用損益(△は益)	△20,923	△50,339
投資有価証券売却損益(△は益)	△195,674	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△685,486
売上債権の増減額(△は増加)	696,822	△230,918
リース債権の増減額(△は増加)	△802,276	△451,493
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67,407	△41,241
仕入債務の増減額(△は減少)	292,658	76,355
前受金の増減額(△は減少)	59,041	27,444
未払消費税等の増減額(△は減少)	△161,636	35,465
その他	△6,903	△4,691
小計	1,021,633	193,389
利息及び配当金の受取額	707	408
利息の支払額	△4,420	△4,046
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△331,702	△446,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	686,217	△257,150
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△50,000	△228,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	264,000	—
出資金の分配による収入	199,310	925,735
有形固定資産の取得による支出	△77,531	△14,978
無形固定資産の取得による支出	△17,046	△48,621
敷金及び保証金の差入による支出	△28	△18,078
敷金及び保証金の回収による収入	215	60,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	865,115
その他	△5,090	△5,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	313,828	1,536,138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	176,592
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△161,380	△181,380
非支配株主からの払込みによる収入	20,660	147,030
セール・アンド・リースバックによる収入	97,230	46,675
配当金の支払額	△123,444	△187,615
自己株式の取得による支出	△312,427	△1,649
自己株式の処分による収入	60,524	40,744
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△692,209	△820,800
その他	△8,169	△20,597
財務活動によるキャッシュ・フロー	80,782	△800,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△360
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,080,829	477,628
現金及び現金同等物の期首残高	3,631,622	4,877,575
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	30,914
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△103,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,712,451	5,282,176

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー 環境関連 事業	電子 メディア 事業	文化教育 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,062,137	1,417,764	1,058,821	7,538,723	156,185	7,694,909	—	7,694,909
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	719	40,073	—	40,792	600	41,392	△41,392	—
計	5,062,856	1,457,838	1,058,821	7,579,516	156,785	7,736,301	△41,392	7,694,909
セグメント利益	1,215,619	148,339	43,526	1,407,485	59,805	1,467,291	△431,958	1,035,332

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング、業務受託テレマーケティング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△431,958千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー 環境関連 事業	電子メディア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,513,635	1,489,203	8,002,838	8,002,838	—	8,002,838
セグメント間の内部売上 高又は振替高	74	300	374	374	△374	—
計	6,513,709	1,489,503	8,003,212	8,003,212	△374	8,002,838
セグメント利益又は損失 (△)	1,781,502	△347,471	1,434,031	1,434,031	△538,770	895,260

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△538,770千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社ハクビの当社が保有する全株式を譲渡して連結の範囲から除外しております。これに伴い、報告セグメントの「文化教育事業」の区分につきましては、記載しておりません。
4. 第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社ネクシィーズ・トレード及び株式会社DiNAは総資産、売上高、当期純利益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、事業セグメントの「その他」の区分につきましては、記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。